

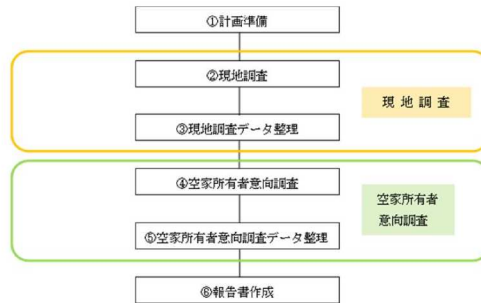
調査の目的

本調査は、空家の現地調査及び所有者意向調査から空家の件数や状況、所有者の意向などを調査し、調査結果を空家等対策計画の基礎資料として作成することを目的とした。

実施期間

〔自〕平成27年8月13日 ～ 〔至〕平成28年3月11日

業務フロー



本実態調査で判明した空家件数と空家率

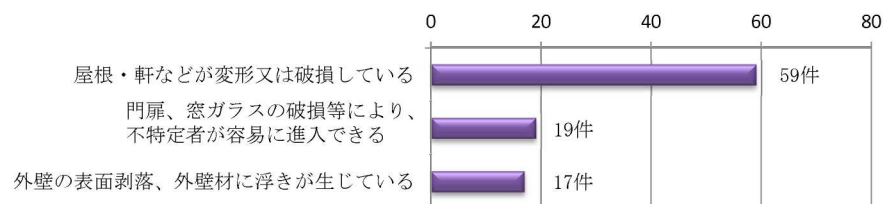
空家件数	空家率
491件	2.6%

※空家件数は、現地調査・空家所有者意向調査にて空家と判定された戸建住宅の件数。空家率は、「平成25年住宅・土地統計調査」で発表された日連市の住宅戸数18,560棟から算出した数字（少数第2位切り捨て）です。

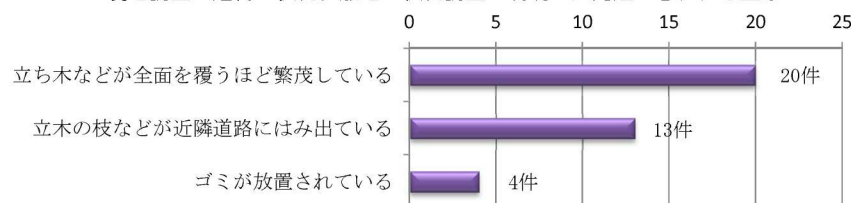
空家件数が多かった字（上位10字）

岩崎町	40件	藤枝町	14件
米野木町	33件	南ヶ丘	14件
五色園	29件	藤島町	11件
東山	28件	赤池町	9件
藤塚	18件	折戸町	9件
梅森町	16件	梅森台	9件

現地調査 老朽度調査で多かったもの（重複あり）



現地調査 建物の状況、敷地の状況調査で判明した問題と思われる空家



空家所有者意向調査 回収状況

587件送付した意向調査アンケートの内、380件の回答が得られた。

○現在、対象住宅の状態はどうなっていますか（有効回答数：376件 未回答：4件）

項目	回答数	比率	項目	回答数	比率
自分または親族が住んでいる	48	13%	時々利用している	126	33%
貸家している	15	4%	物置として利用している	83	22%
売却、譲渡済	19	5%	車庫のみ利用している	8	2%
既に解体済、又は解体予定	14	4%	利用していない	63	17%

※以降の集計に際しては、「時々利用している」「物置として利用している」「車庫のみ利用している」「利用していない」と回答した280件に、未記入4件を含めた284件を有効対象数として集計を行った。

○対象住宅の建築時期はいつ頃ですか（有効回答数：269件 未回答：15件）

項目	回答数	比率	項目	回答数	比率
昭和26年以前	10	4%	平成4年～平成13年	18	7%
昭和27年～昭和36年	9	3%	平成14年～平成23年	8	3%
昭和37年～昭和46年	56	21%	平成24年以降	1	0%
昭和47年～昭和56年	114	42%	わからない	10	4%
昭和57年～平成3年	43	16%			

○空家になっている理由は何ですか（有効回答数：261件 未回答：23件 上位5項目）

項目	回答数	比率
住んでいた人が死亡したため	62	24%
他所へ住宅を新築・購入し転居したため	57	22%
住んでいた人が施設入所、入院したため	28	11%
転勤などで長期不在のため	23	9%
相続などにより取得したが住む人がいない	22	8%

○対象住宅の維持・管理について困っていることは何ですか（複数回答可）

（有効回答数：264件 未回答：20件 上位5項目）

項目	回答数
困っていない	122
管理の手間が大変	63
現住所から対象住宅までの距離が遠い	62
身体的・年齢的な問題	50
管理費用の負担が重い	40

○対象住宅の今後の活用について、どのようにお考えですか（複数回答可）

（有効回答数：267件 未回答：17件 上位5項目）

項目	回答数
今後も自分または家族が管理する	124
売却したいまたは売却してもよい	83
将来、自分または家族が住む	82
子や孫に任せる（相続する）	49
予定なし（現状のまま）	48

○対象住宅の今後の活用等について、困っていることや心配事がありますか（複数回答可）

（有効回答数：207件 未回答：77件 上位5項目）

項目	回答数
解体して更地になることで、固定資産税があがる	53
愛着があり他人には、賃貸・売却できない	44
荷物、仏壇が置いたままであり、その処分に困っている	36
「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行されたことが不安である	35
売却や賃貸したいが相手が見つからない（信頼できる不動産業者を知らない）	33

○今後の活用や管理に関する要望があればお答えください（複数回答可）

（有効回答数：140件 未回答：144件 上位5項目）

項目	回答数
解体やリフォームなどの助成をしてほしい	62
活用、維持管理、相続問題などについて相談できる窓口を教えてください	42
信頼のおける不動産業者を教えてください	30
信頼のおける維持管理業者を教えてください	11
ボランティアや地域活動などへの活用の仲介などをしてほしい	10